

大学生の男女差による泥はねのちがいについて

森尻 強

(平成11年9月30日受理)

A Study of the Effect of Posture on the Mud Distribution of Students of Both Sexes while They are Walking

Tsuyoshi MORIJIRI

(Received on September 30, 1999)

諸言

女子大学生の泥はねの有無や、それにかかわる泥はねの上がる箇所、泥はねを上げる人の姿勢、泥はねを上げる人の履物の減り方や減る箇所などを調べてみました。

その結果、女子学生の泥はねする人は、予想を上回る数値が出て、こんなに大勢の女子大学生が泥はねを上げているのに、大変びっくりし、又、泥はねを上げるのが普通だと思っている人、泥はねは直らないと思っている人がいた。

そこで今回は、男子大学生の泥はねの有無、上げる箇所、上げる人の姿勢、上げる人の履物の減り方や減る箇所などを調べ、男子大学生も女子大学生のように、泥はねを上げる人が沢山いるのか、背の大きい男子などを見ると姿勢の悪い人が多くみられるが、女子大学生のように姿勢や歩き方に関係あるのかを調べ、男女の比較検討を試みた。

対象及び調査実験方法

明治大学の男子学生2年生の60名、東京家政大学の1年生の124名に質問紙法調査を行い、又歩行運動を画像(VTR)から解析した。

結果

男子学生と女子学生の泥はねを上げる有無を調べたものが、図1である。これらを見ると、女子学生は80%の者が泥はねを上げているのに対して、男子学生は30%の者しか泥はねを上げていない結果が出た。

はい	いいえ
31.6	68.4
男子	
はい	いいえ
80.6	19.4
女子	

図1 泥はねの有無の男女差(%)

次に泥はねを上げている時の歩行姿勢や普段何げなくしている姿勢を調べたものが図2である。

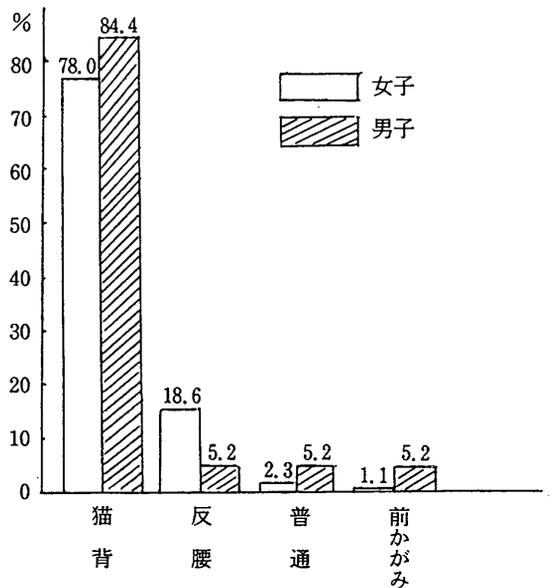


図2 泥はね時の姿勢の男女差(%)

泥はね時に一番多くしている姿勢は「猫背」であり、男女共に80%前後であった。男子学生の次は前かかみ、反腰の順で5.2%、女子学生は反腰が多く18.6%であった。泥はね時の姿勢は、男女共全体の90%が猫背、反腰、前かがみである答えが出た。

次に泥はねがどのような所に上がるのかを調べたものが図3である。

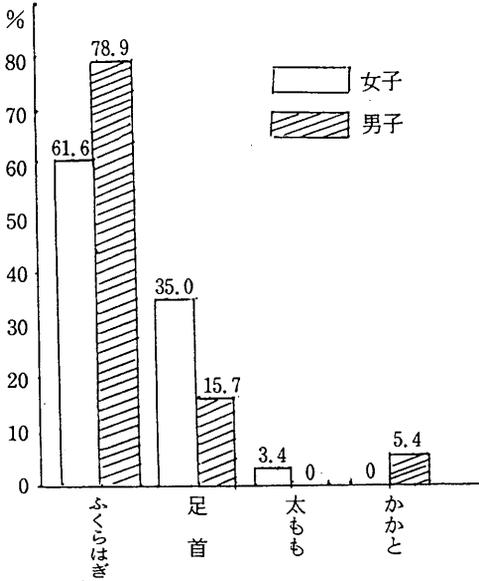


図3 泥はねの上がる箇所の男女差 (%)

男女共に、「ふくらはぎ」に上がると答えた者が一番多く、男子学生は80%、女子学生は60%、次は「足首」に上がると答えた者、男子学生は16%、女子学生は35%であった。又、男子学生は「かかと」5%、女子学生は「太もも」3%であった。男女共に「ふくらはぎ」に上げる人が一番多かった。

次に泥はねを上げる人の歩き方による履物の減り方について調べたものが図4である。

どこかが減っている	87.5	な減いら
男子		12.5
どこかが減っている	92.8	減らない
女子		7.2

図4 泥はねを上げる人の履物の片寄った減り方の男女差 (%)

「どこか減っている」という質問に、男子学生は88%であり、女子学生は93%と答えた者がいた。

次に泥はねを上げる人の履物の減る箇所を調べたものが図5である。

男女共一番減る箇所は、履物の外側で男子学生70%、女子学生は60%であった。男子学生の次はかかと26%、片方の外側5%であり、女子学生は内側17%、かかと15%、片方の外側8%であった。

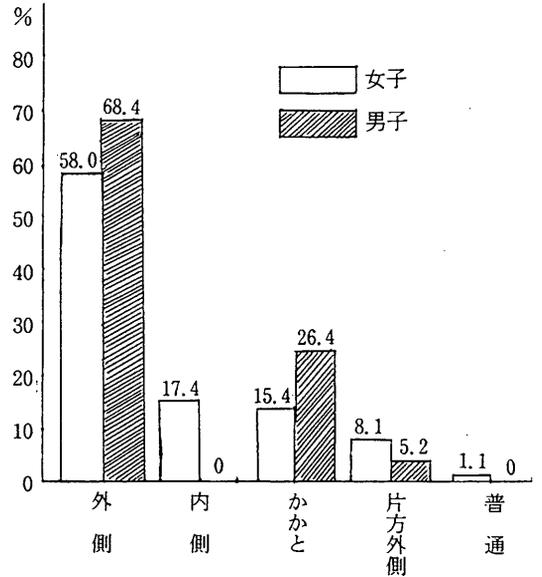


図5 泥はねを上げる人の履物の減る箇所の男女差 (%)

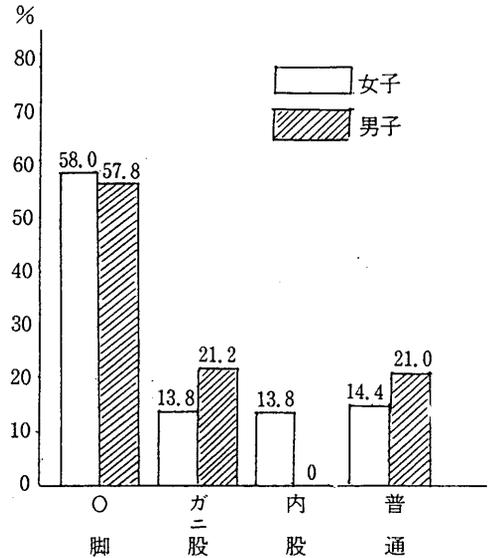


図6 泥はねを上げる人の足の形の男女差 (%)

次は泥はねを上げる人の脚の形を調べたものが図6である。男女共に一番多かったのは、O脚であり60%であった。男子学生の次はガニ股21%、普通21%であり、女子学生の次はガニ股14%、内股14%、普通28%であった。

今回は、泥はねを上げる人ばかりではなく、泥はねを上げない人の姿勢、履物の減り方、脚の形などを調べてみた。図7は泥はねの上げない人の姿勢を調べてみたものである。男女共に「猫背」が一番多く、約60%であった。男子学生の次は反腰2.7%、前かがみ13.8%、普通22.4%であり、女子学生は反腰4%、前かがみ12%、普通28%であった。

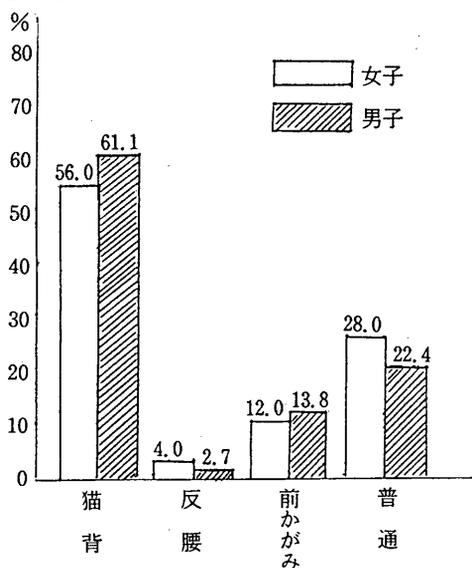


図7 泥はねを上げない人の姿勢の男女差(%)

次は泥はねの上げない人の履物の減る箇所を調べたものが図8である。男子学生はかかと40%、外側30%、片方の外側14%、普通11%、内側6%であり、女子学生は外側52%、かかと24%、普通16%、片方の外側8%であった。

次は泥はねを上げない人の脚の形を調べたものが図9である。男女共に一番多かったのは、普通50%前後であった。次も男女共にO脚30%前後であった。男子学生の次はガニ股、内股、X脚2.7%であり、女子学生は内股、X脚8.3%であった。

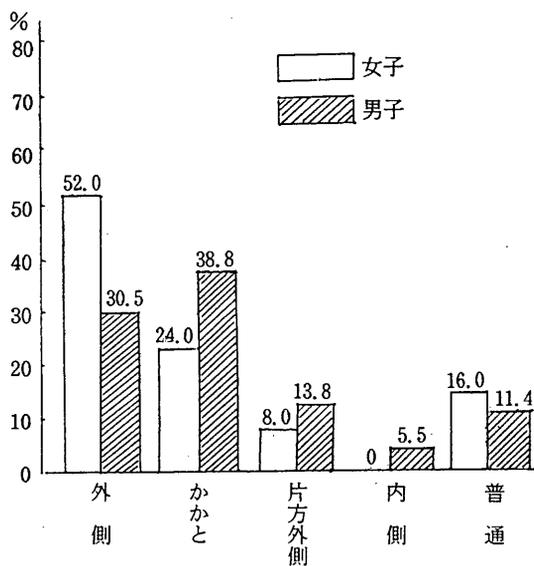


図8 泥はねを上げない人の履物の減り方の男女差(%)

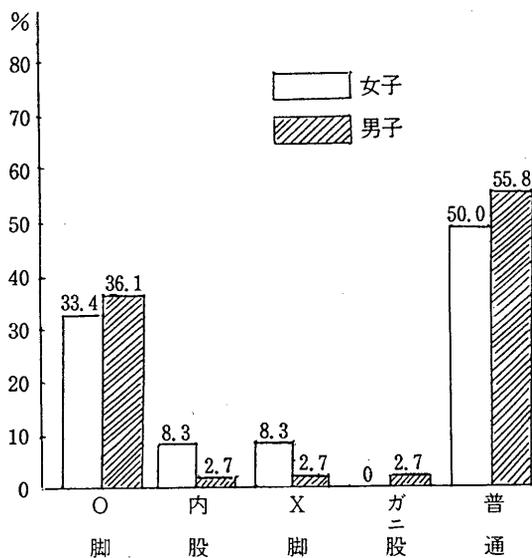


図9 泥はねを上げない人の脚の形の男女差(%)

考察

泥はねの男女差は、圧倒的に男子より女子の方が泥はねを上げていることがわかった。しかし、泥はねは女子の方が多いが姿勢などをみると、男女共に猫背が多いがこれらの原因は何だろうかとみてみると、その1つに腰盤がある。女子の腰盤は男子の腰より反っているために、女子特有の反腰の姿勢が多いと思われる。

もう1つは股関節である。女子の股関節は男子より内側に曲りやすくなっているために、内股やX脚になりやすい。このように女子の身体は、男子の身体に比べて猫背や反腰になり、股痛にもなりやすく、泥はねを上げる人も多い。又、男子は腰が真上に立っているの、女子より姿勢などは良いために、泥はねする人が少ないわけである。

結果をみても、履物の減り方、脚の形にしてもいろいろなケースのあるのは、姿勢が悪いために生じるのだと考えられる。又、泥はねを上げない人の結果をみても、泥はねをする人と比較してもやはり、履物の減り方、脚の形をみても女子の方がいろいろな形などがあるのは、股関節の角度、腰盤の前傾角度などによる原因があると思われる。しかし、男子の姿勢などは10年前ぐらいと比較すると大変悪くなっており、泥はねを上げる人も12%も多くなっている。これらは、日常生活の中であまり運動などをしないこととか、小さい時から家にこもる生活環境などが、大きく影響していると考えられる。

参考文献

- ① 中村誠：「姿勢の科学」, 不昧堂
- ② 寺島士：「健康指導と姿勢教育」, 万有出版
- ③ 寺島士：「体操療法」, 雄山閣
- ④ 森尻強：東京家政大学研究紀要 第35集「歩行姿勢と重心移動による泥はねの関係について」